

「ラストダンス」

—初稿—

2025/11/20
しののめ ののの

人物表

サム・グレイス	(40)	外国籍のプロバスケットボール選手
スミス・ウィルソン	(27)	試合におけるサムのマーク相手
西條　迅	(25)	スミスのチームメイト
ミシェル・グレイス	(8)	サムの娘

1.

アリーナ・バスケットコート（昼）

大勢の観客でひしめき合う会場。音楽が大音量で流れている。観客たち、座席で雑談したり、写真を撮ったり、フードや物販に並んだりしている。

2.

アリーナ・ロッカールーム（昼）

赤ユニフォームを着た選手たちが各自、試合前の時間を過ごしている。日本人選手の中に、外国人（に見える）選手も何人か混ざっている。

巨漢のサム・グレイス（40）、自分のロッカー前で準備している。手作りを思わせるいびつなミサンガを手首から外し、じっと見つめる。ミサンガを握り顔の前に持ってくると、目を閉じて祈るように意識を集中させる。

外国人コーチやスタッフが入って来て、選手たちに声を掛ける。サム、ミサンガをロッカーに入れ、控室の椅子に座る。他の選手たちも各自座る。

コーチが選手たちに向かって英語で話し始める。それを隣の日本人スタッフが同時通訳している。非常に深刻な雰囲気で、コーチとスタッフの言葉にも熱が入っている。

スタッフ「今日だけは絶対に勝とう。B1残留を死守しよう」
選手たち、「おう」などドスの聞いた声を出す。
目を閉じて聞いていたサム（40）、静かに目を開ける。

3.

アリーナ・バスケットコート（昼）

大半の観客が着席している。アップテンポな音楽が流れ、観客が手拍子や鳴り物で盛り上げている。客席の7割程度が黒い服装、残りは赤い服装。

10人の選手がコート内に揃っている。赤ユニフォームが5人、黒ユニフォームが5人。
笛が鳴り、ジャンプボールから試合がスタートする。

黒ユニの西條迅（25）がボールをドリブル。サム、
ゴール下で待ち構える。非常に真剣な表情。

4. アリーナ・実況ブース（昼）

2階席の一角に設置された実況ブース。アナウンサーと解説者が実況をしている。

アナウンサー「さあ始まりました、東京ブラックタイガー対、宮崎レッドフラミングの対戦です」

解説者「宮崎はこの試合を落とすとB2降格が確定しますからね。絶対に負けられない一戦です」

5. アリーナ・バスケットコート（昼）

コート内で選手たちが激しく動き回っている。

アナウンサーの声「対する東京は、いち早くチャンピオンシップ出場を決めた強豪中の強豪。宮崎、アウエイの中の一矢報いることができるか」

ゴール下の黒ユニを着たスマス・ウイルソン（27）にボールが回る。スマス、荒い動きでサムを押していく。サム、苛ついた表情。スマス、豪快にダンクしようとするが、サムが勢いよくボールを弾き飛ばす。会場が盛り上がる。

6. アリーナ・観客席（昼）

1階席の一角、日本人だらけの中にサムの家族が紛れている。妻、息子、娘の三人。盛り上がっており、特にミシェル・グレイス（8）がはしゃいでいる。

ミシェル「パパ、パパ」

三人の手首に、いびつなミサンガが巻かれている。

7. アリーナ・実況ブース（昼）

アナウンサー「サム・グレイス、豪快なブロック。来日して6年、早速大ベテランとしての意地を見せます」

解説者「流石ですね。御年40なんんですけど」

アナウンサーの声「サムは今シーズンで引退するとの噂もあります

すが、そうとは思えない安定感です」

8. アリーナ・バスケットコート（昼）

サム、不満げな表情で手を広げ、英語で捲し立てて近くの審判にアピールしている。

解説者の声 「残りの試合数もかなり少ないですからねえ。本当に引退するなら、悔いを残したくはないでしようね」「

サム、スマスが押してくると伝えてる様子。

審判、首を横に振つて。サム、不満げに自分のポジションへ戻る。

9. アリーナ・バスケットコート（昼）

ボールが回り、黒ユニの選手が3ポイントシュートを打つ。サム、ゴール下で再びスマスに押され、苛ついた表情。リバウンドに備えるが、押してきたスマスが零れ球に触り、リング内へ戻す。7割の観客が大歓声。赤ユニの選手たち、表情が固くなる。

以降モンタージュ的に、試合がどんどん展開していく。黒チームが遠方からのシュートを中心に得点し、点差を広げていく。赤チームもサムがゴール下でのシュートを決めるなどして点を返すが、得点シーンが2対1程度の割合に。赤チームのファンやサムの家族も、不安げな表情に変わっていく。

10. アリーナ・観客席（昼）

2階席に座る私服姿の観客、隣の客と囁き合う。

観客1 「やっぱ流石に無理じゃね」

観客2 「宮崎が降格か〜」

二人の視線の先にはスコアボード。第2クオーターであることを示す「2」と、HOME 42、GAME ST 23という数字が映し出されている。

11. アリーナ・バスケットコート（昼）

会場はタイムアウトを迎えて。黒チーム、ベン

チで活気づいている。一方、赤チームのベンチはかなりピリついた様子。外国人コーチと通訳スタッフが、激を飛ばしまくっている。頭にタオルを置いたサム、鬼気迫る表情で座っている。

ブザーが響き渡り、サムと4人の選手が立ち上がる。円陣を組んで「ワンツースリー、ミヤザキ」と掛け声。各チームの選手5人がコートに戻り、試合再開。

12. アリーナ・バスケットコート（昼）

サム、一層激しくスマスに押されている。付近に座っている赤ユニの観客が、「押してやる、押してやるぞ！」と審判にアピールするも聞き流される。

サム、相手ゴール下に攻め込み、シュートを入れようとするが、スマスに手ごとボールを叩き落とされる。西條がボールを拾い、爆速で走り出す。盛り上がる会場。

赤ユニの選手たち、慌てて追いかける。サムも焦つて追いかけるが、勢いあまって西條に強く接触。派手に転ばせてしまう。サム、しまったという表情。会場から悲鳴混じりのどよめきが上がる。

笛が鳴り、試合が中断に。ざわめく会場。西條、体を痛めた様子で苦悶しており起き上がれない。

コート上部に吊るされた巨大なスクリーンで、問題のシーンが再生される。サムが西條を転ばせた場面で再度、悲鳴と怒号が上がる。「アンスローー」、「アンスボだろー」といった野次が飛び。

13. アリーナ・観客席（昼）

サムの家族、ブーイングに萎縮している。ミシェル、怯えたように母親へ縋りつく。

14. アリーナ・バスケットコート（昼）

コートサイドでビデオチェックをしていた審判が出てくる。両手を挙げ、右手首を掴む仕草。

15.

アリーナ・観客席（昼）

2階席に座る黒ユニ姿の観客、隣の客と囁き合う。

観客3 「チャンピオンシップ前に何やつてくれてんだよ……」

観客4 「まさにアンスポートマンライクファウルって感じ」

観客3 「これだからガイジン選手はさあ……」

二人の視線の先にはサムの姿。大ブーリングの中で立ち尽くしている。

16. アリーナ・ロッカールーム（昼）

ハーフタイム。サムの拳がロッカーの扉に叩きつけられる。赤ユニの選手たち、無言。サム、どかっと床に座り込む。非常に重苦しい空気。

サム、暫く苛ついた様子だったが、徐々に落ち着いてくる。おもむろに拳を開くと、中にはミサンガ。

サム、ミサンガを見つめて切なげな表情。そつと顔を上げ、チームメイトたちを見つめる。皆暗い雰囲気。サム、ミサンガをぎゅっと握り締め、俯く。

コーチや通訳が入ってくる。選手たちに声を掛け、静かに話し始める。俯いたままのサム、微動だしない。

話が終わり、一同が立ち上がる。一人座つたままのサム、不意に声を出す。

「Guys.」

サム、立ち上がって何かを話す。黙つて聞くチームメイトやスタッフ。サム、最後に頭を下げる。仲間達、励ますように肩や腰を叩く。円陣を組み、静かに「ワンツースリー、ミヤザキ」。

サム、澄んだ瞳で前を向く。

おわり